

薬の豆知識



水虫について

☆ 水虫とは

水虫にかかっている人は、夏場には1500万—2000万人にも達し、特に男性では4人に1人といわれています。また足を密閉した状態にする時間が増えたことが影響し、冬場でも2-3日に1回以上ブーツを履く女性では、51%の人がかかった事があると報告されています。

水虫は、白癬菌が皮膚角質層、毛、爪などに含まれているケラチンを栄養源として発育した状態です。このため水虫の治療は、外用薬あるいは内服薬により、抗真菌薬を白癬菌が存在する場所に到達させる事が目標になります。

☆ 外用抗真菌薬

白癬菌が表皮の角質層に存在する場合に使います。クリームや液など、多種類あります。これらの外用薬は、塗る回数を増やすと患部があれたり、かぶれたりする原因になりますので、1日に何回も塗るより医師の指示通り回数・量を守り、毎日忘れずに塗り残しのないよう続ける事が大切です。治療開始後2—3週間もすると症状が改善しますが、角質層の菌が完全に死んだわけではありません。完治するには、一般的に最低2—3ヶ月は塗り続ける必要があります。

薬を塗る前には、必ず手と足をよく洗い、患部を清潔にして下さい。液剤は入浴後に塗ると角質が軟化して薬が浸透しやすくなるので、より有効です。また症状が片足だけでも、もう片方の足に菌がついていることがあるので、両足に塗る事が大切です。すりこむ必要はありませんが、広めに塗る必要があります。

酢酸をぬったり、生のにんにくを足の指の間に挟んだり、たばこの灰をつけたり、アロエを塗ったりするなどの民間療法は、刺激により悪化させる事はあってもなおす事はありません。

☆ 内服用抗真菌薬

角質層が厚い足のうら・毛・及び爪などに存在する白癬菌に対しては、内服用抗真菌薬を服用します。外用薬と併用する事により、治療効果をあげ、治療期間が短縮されています。

常に患部を清潔にし、乾燥に努めると良いでしょう。靴下、バスマット、トイレのスリッパなども感染源になりやすいので、こまめに洗濯し、清潔にしておきましょう。

